

予告 | 横浜市こどもの美術展2016

今年も開催！「横浜市こどもの美術展」

夏の恒例「横浜市こどもの美術展」を今年も開催します。この展覧会は横浜市民ギャラリーが開館した翌年の1965年から始まった歴史ある展覧会です。今年は新たにテーマ部門を設けて「花」というテーマと、自由テーマで子どもたちが描いた作品を募集し、応募された作品をすべて展示します。元気いっぱい描いた作品のご応募をお待ちしています。

また、会期中には、アーティスト・康夏奈[吉田夏奈]さんの作品の特別展示や、子どものための演奏会、子どもも大人も自由に参加できる楽しいワークショップを開催します。みんなで遊びにきてね！

横浜市こどもの美術展2016
2016年7月29日[金]～8月7日[日] 10:00～18:00 横浜市民ギャラリー 入場無料 ※会期中無休

【作品募集概要】

応募資格 横浜市在住・在学の小学生以下の児童・幼児(0～12歳)

募集作品 絵画(技法は自由)1人1点

四つ切画用紙サイズ(38×54cm) 縦横自由

※これより小さいサイズの場合は四つ切の台紙に貼って提出

テ ー マ | 「花」部門・「自由テーマ」部門

いずれかを選んで応募してください。

※画面の中に少しでも花が描かれていれば「花」部門に応募できます。

応募方法 受付期間に横浜市民ギャラリー4階アトリエまでお持込みください。出品無料。応募には「作品カード」「出品申込用紙」の提出が必要です。応募前には必ずチラシ、ホームページをご確認ください。(6月公開予定)

受付期間 7月14日[木]～16日[土] 10:30～16:00

参 加 賞 出品者全員に缶バッジをプレゼントします。

作品返却 返却期間に横浜市民ギャラリー4階事務室までお返しするか、ゆうパック(着払い)でお送りします。

返却期間 8月18日[木]～21日[日] 10:30～16:00

【自由参加ワークショップ】

どうぶつお面をつくろう

7月29日[金]～8月7日[日]

子どもも大人も自由に参加できる楽しいワークショップ。色画用紙をつかってどうぶつのお面をつくらしてみよう！

会場 | 横浜市民ギャラリー

参加費 | 無料



昨年の様子

【横浜市こどもの美術展2016 ボランティア募集】

展覧会場での自由参加ワークショップのサポートをしてみませんか？

みなさんのご応募をお待ちしています！

内 容 | ワークショップ補助

活動日時 | 7月29日[金]～8月7日[日] 11:00～17:00

応募期間 | 5月14日[土]～6月24日[金]必着

応募資格 | 13歳以上。こどもの美術展に関心のある方。原則として説明会に参加でき、活動日時のうち2日以上活動できる方。

※18歳以下の方は保護者の方の同意を得てお申込ください。

説 明 会 | 7月10日[日] 10:30～12:00

応募方法 | 往復はがき、ホームページの申込フォーム、直接来館のいずれかでお申込ください。



昨年の自由参加ワークショップのーコマ。ボランティアのみさんが活躍しました。

予告 | ハマキッズ・アートクラブ 2016年度

幼児・児童を対象にした描きつくるアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」を今年も開催します！

この活動は、子どもたちに「自分で考える」「自分でできる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらうことに目的があります。自分で最後までがんばるからすてきな作品ができるが、そんな経験をしてみませんか？

会場 | 横浜市民ギャラリー4階アトリエ

※応募多数の場合は抽選です。締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。

うごくしくみでつくろう

割りピンをつかって手足などの動く生き物をつくりましょう。

6月12日[日] 13:30～15:30

講師 | 大竹美佳(造形作家)

対象・定員 | 小学1～3年生 25名(抽選)

参加費 | 1,500円(材料費込)

申込締切 | 5月28日[土]必着



タイコを鳴らそう！

ホンモノの皮でタイコをつくって、みんなで音を鳴らしてみよう！

11月12日[土] 13:30～16:00

講師 | 貞岡幸男(太鼓マイスター)

対象・定員 | 小学1～3年生 25名(抽選)

参加費 | 2,000円(材料費込)

申込締切 | 10月29日[土]必着



土粘土であそぼう

土粘土(つちねんど)は水がまぎっているから柔かい。

つまんでみたり、丸めてみたり、のびてみたり自由自由。

なにをつくろうか？



7月9日[土] 10:30～12:00

講師 | ミツ山一志(造形教育家)

対象・定員 | 幼稚園・保育園の年少～年長に相当する幼児と保護者 15組(抽選)

参加費 | 1組 1,000円(材料費込)

申込締切 | 6月25日[土]必着



スーパーカーをつくろう

木でできた台車にいろいろなものをくっつけて、オリジナルのスーパーカーをつくりましょう。

2017年1月22日[日] 10:30～12:00

講師 | ミツ山一志(造形教育家)

対象・定員 | 幼稚園・保育園の年長に相当する幼児 25名(抽選)

参加費 | 1,500円(材料費込)

申込締切 | 2017年1月7日[土]必着



アニメーションの先祖 おどろき盤をつくろう！

丸い紙に12コマの絵を描いて、くるくる回しながら見る短いアニメーションをつくりましょう。夏休みの自由課題にもぴったりです。

8月21日[日] 13:30～16:00

講師 | 橋本典久(アーティスト)

対象・定員 | 小学4～6年生 25名(抽選)

参加費 | 1,500円(材料費込)

申込締切 | 8月6日[土]必着



スチロールアート

スチロールを材料にして、動物や虫など好きなものをつくりましょう。

9月10日[土] 13:30～15:30

講師 | 宇田川純子(アーティスト)

対象・定員 | 小学1～3年生 25名(抽選)

参加費 | 1,500円(材料費込)

申込締切 | 8月27日[土]必着



報告 | コレクション展2016 風景―それぞれのまなざし

「風景―それぞれのまなざし」盛況のうちに閉幕！

横浜市民ギャラリーコレクション展2016では、〈風景〉をキーワードに1940年代から1990年代に制作された絵画や写真を展示し、風景表現の多様な展開を紹介しました。第二次世界大戦終了後から近代化の進む横浜をはじめとする日本を写し描いたり、現実にはない幻想的な世界を創出したり、日常の光景をクローズアップするなど、作家それぞれのまなざしでとらえられた風景表現に、来場された方たちも様々な視点から関心を持って鑑賞されていました。関連イベントのクロストークでは、出品作家の土田ヒロミさんと写真評論家の倉石信乃さんをお招きし、“風景を撮る”をテーマに写真による風景の記録についてお話しいたしました。土田さんの近作の上映もあり、参加された方は最後まで熱心に聴講されていました。また横浜市民ギャラリー展覧会カタログ市では、希少な資料を求める方で賑わいました。



会場(展示室B1)の様子。第3章「印象」 photo:Ken KATO



会場(展示室1)の様子。第2章「幻想」 photo:Ken KATO



会場(展示室1)の様子。特集展示「柳原良平の描いたヨコハマ」 photo:Ken KATO



クロストークの様子。土田さんの写真を上映しながら、写真にとらえた風景や人々、当時の思い出まで、話が展開しました。



担当学芸員によるギャラリートーク。会場をめぐるながら出品作品について解説しました。第4章「日常」宮本昌雄作品の前での様子。



横浜市民ギャラリー開設時から2000年代にかけておこなわれた展覧会のカタログを特別販売しました。貴重な資料を購入いただける最後の機会に、たくさんの方がカタログをお求めになりました。 photo:Ken KATO

【関連事業】

クロストーク 3月5日[土] 14:00～

会場:横浜市民ギャラリー 4階アトリエ

出演:土田ヒロミ(写真家)、倉石信乃(明治大学教授)

担当学芸員によるギャラリートーク 3月12日[土] 14:00～

会場:横浜市民ギャラリー 展示室1、B1

横浜市民ギャラリー展覧会カタログ市 3月4日[金]～3月20日[日]

会場:横浜市民ギャラリー 展示室1 受付

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.6 >>> 土田ヒロミ(つちだ・ひろみ)

土田ヒロミさんは、1939年福井県生まれ。福井大学卒業後、東京総合写真専門学校で写真を学び、1971年からフリーランスの写真家として活動されています。日本各地の風俗に着目した〈俗神〉、首都圏を中心に人が集まる機会や場所を写した〈砂を数える〉、原爆の惨事を伝えるため1970年代から継続的に撮影している〈ヒロシマ〉シリーズなど、様々な場所を訪ねて、日本の風景や人びとの生活の移り変わりをとらえてきました。

「横浜市民ギャラリーコレクション展2016 風景―それぞれのまなざし」では、関連イベントとしてクロストークを開催し、出品作家のひとりである土田さんに出演していただきました。クロストークでは、“風景を撮る”というテーマで、1960年代から現在にいたるまで、土田さんが写してきた風景の数々を見ながらお話をうかがいました。記録に重点をおきながら制作してきた土田さんは、東日本大震災以降、福島を中心に撮影をおこなっています。こうした記録の展開には、〈ヒロシマ〉シリーズからの文脈的な繋がりを見ることが出来ます。クロストークの最後には近作〈クシマの唄〉を上映するなど、土田さんの多様な作品に触れる貴重な機会になりました。



土田ヒロミ「砂を数える」1991年ゼラチンシルバープリント 28.7×42.7cm

横浜市民ギャラリー | アクセス・施設案内



〒220-0031 横浜市西区宮崎町26-1 TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033

10:00～18:00(入場は17:30まで) 毎月第3月曜日、年末年始(12/29～1/3)休館

【交通案内】

電車でのアクセス

- JR・横浜市民地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
- 東京「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。

バスでのアクセス

- 市営バス103系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2分 ●市営バス89・156・292系統「野毛大通り」から徒歩7分
- 市営バス8・26・58・89・101・105・106系統「紅葉坂」から徒歩7分

送迎車サービス

おからだの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。桜木町駅東口タクシー乗り場のタクシーを背にした付近★に送迎車が停車します。

駐車場

有料、予約制 予約専用TEL 045-315-4440(1週間前から受付)

【送迎車時刻表】

2016年5月1日改訂

増便しました！

JR桜木町駅発

時 分

09 45▲

10 00▲ 20▲ 40▲

11 00▲ 20▲ 40▲

12 00▲ 20▲ 40

13 00 20 40

14 00 20 40

15 00 20 40

16 00 20 40●

17 10● 30● 45●

18 00●

横浜市民ギャラリー発

時 分

10 10▲ 30▲ 50▲

11 10▲ 30▲ 50▲

12 10▲ 30▲ 50

13 10 30 50

14 10 30 50

15 10 30 50

16 10 30● 50●

17 10● 30● 45●

18 00●

※火曜日は展示作業日のため▲印の運行がありません。

※月曜日と、第3月曜日前日の日曜日は撤去作業日のため●印の運行がありません。

※横浜市民ギャラリー主催の展覧会開催中は、曜日に関わらず全ての便を運行します。

※第3月曜日、年末年始は休館日のため運行がありません。

※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。

http://ycag.yafjp.org/

@ycag1964

http://facebook.com/ycag1964

編集発行 | 横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)

発行日 | 2016年6月1日

デザイン | ten pieces

©Yokohama Civic Art Gallery 2016